

風にのって、羽ばたく。

[2025年・新春]



医療法人 仁木会
広報誌 Vol.36

Take Free.

ご自由にお持ちください

そよ風のてがみ

[特集]

SDGs活動報告 振り返りと令和7年の取り組み

2025年巻頭言

できごと

新入職員紹介

かんたんレシピ

[たらのアクアパッツァ風]



● 外来診療のご案内

- ・ 受付時間／8:30～11:30、13:00～16:30
※初めての方は待ち時間解消のため、お電話でご予約ください。
- ・ 診療時間／9:00～12:00、13:00～17:00
※ストレスケア外来・ストレスカウンセリングは、ご予約の上ご来院ください。
- ・ 休 診 日／土・日・祝日
※再来急患の場合は、その限りではありません。

● 診療費のお取扱いについて

[窓口でのお取扱い時間]

- ・ 平日／ 9:00～17:00
※土・日・祝日のお取扱いはありません。

● 保険証の確認について

- ・ 外来／診察毎時 ・ 入院／月1回
※窓口での提示をお願いします。

[口座振替]

ご指定の口座より自動振替えによる、入院費・日用品代のお支払いができるサービスを行っております。
定期的に来院するのが大変な方、遠方からお越しの方等、大変便利なサービスとなっておりますので、ぜひご利用ください。



医療法人 仁木会
ニキ ハーディーホスピタル
[精神科・神経科・神経内科]
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目6-100
TEL.096-384-3111



医療法人 仁木会
訪問看護ステーション クレイン
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番74号
TEL.096-234-7738
FAX.096-234-7746



医療法人 仁木会
相談支援事業所 アウル
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番74号
TEL.096-234-7756
FAX.096-234-7746



医療法人 仁木会
訪問看護ステーション コリブリ
〒860-0834
熊本市南区江越1-10-18-102
TEL.096-234-7580



医療法人 仁木会
相談支援事業所 アウルサテライト
〒860-0834
熊本市南区江越1-10-18-102
TEL.096-234-7585

心に安らぎのそよ風を。

<https://niki-hp.or.jp>



再来予約専用

TEL.090-1779-5326
TEL.096-383-7810

電話予約受付時間
(平日のみ)
8:30～12:00
13:00～17:00

● お問い合わせについて

初めての方…………… TEL.096-384-3111
一般外来…………… TEL.096-383-7810
(診察予約・変更・キャンセル) TEL.090-1779-5326
ストレスケア外来・カウンセリング…… TEL.096-383-4679
(診察予約・変更・キャンセル)
デイケアに関すること…………… TEL.096-384-3151

＜医療機関・地域包括支援センター・介護施設のご担当者様へ＞
各種お問合せは地域連携室で対応させていただきます。

[クレジット]

入院費・外来診察料・カウンセリング料のお支払いが可能です。
一括払いのみとなります。分割払い・リボ払いはお取扱いしておりません。



基本理念

医療法人仁木会は、
患者様の心を癒し、社会で安心して生活が出来るように手助けをします。
患者様、ご家族、地域の方々に寄り添った、
家庭的で心の通った医療とサービスを提供します。



結び・繋がり



愛するということは、
互いに見つめ合うことなく、
一緒に同じ方向を見ることだ。

サン・テグジュペリ

精神科医療では、子どもからお年寄りまで、様々な患者様が訪れる。些細な心の悩みから、脳組織に病因が見られる重篤な疾患まで。自分は、それまで何も不自由なく生活してきたのに、その日は突然訪れたり、水面下でじわじわ進行して、そしてある日その変化に、自ら気づいたり、周囲が気づくことで表面化する。

家族、友人、職場や学校などの理解とサポートが上手く得られる場合と、得られない場合とでは、患者様本人の安心度や、経済的側面、生活上や病態そのものの予後に大きく影響する。医療に繋げて、治療を開始するのは、早ければ早い方が良い。職場の理解が得られれば、退職しなくても済むかもしれないし、状態に合った仕事を行うことで、患者様なりの社会の役割を得ながら、治療やリハビリに専念できる。当院には、とても優秀な精神保健福祉士や心理師が常駐しているので、皆様のお役に立つものと思う。

二〇二六年 F o r b e s は、「時間は心の傷を癒さない、米研究で明らかになった」と報じているように、

心の傷は、手当てをしないと、永遠にその人の心に残り、苦しみ続ける。

二〇二四年の医療保険の改正により、PTSD（心的外傷後ストレス障害）に罹患した人への、心理支援が時間の制限があるが、月に2回、2年間認められた。熊本地震で外傷を負った人達や、DVや虐待など多くのPTSDを持った人にとっては、朗報である。しかし、この時間の範囲では、EMDR等の専門的な治療はできないが、ただ、話を聞く対応ではなく、適切な心理的対応は、多くの助けになるだろう。

心の問題を抱えている人にとって、医療ばかりではなく、心理支援、訪問看護やソーシャルサポートなど多くの繋がり、安心感と安定感を与え、心理的な孤独感も解消され、未来のより良い自分を想像できるようにになると考える。

理事長 仁木 啓介

あけましておめでとうござい
す。本年もどうぞよろしく願
い申し上げます。昨年は多くの
取り組みを行いました。相談支
援を続ける中で、就学・就労
や生活環境の大きな変化に
直面し、支援内容の見直し
が必要であることを痛感しま
した。昨年の実績を振り返り
、今年の目標や取り組みにつ
いてお伝えいたします。

1 相談支援の状況

関係事業所のみなさまからの
新規相談をご紹介いただき、
心より感謝申し上げます。当
事業所は一時的に利用定員が
いっぱいとなり、計画相談支
援や障害児相談支援の新規
受付を一部制限せざるを得
ない状況です。利用を希望
されていた方には、大変申し
訳なく思っております。（※当
事業所は機能強化型一を届
出しており、月当たりの算定
件数に縛りがあるため定員
をもうけています）

計画相談支援と地域移行支援

計画相談支援は昨年と変わ
らず進行しています。昨年、
65歳を迎えた利用者が介護
サービスに移行するケースが
あり、地域包括支援センタ
ーや居宅介護支援事業所と
連携を強化しました。

また、地域移行支援では昨
年3件の取り組みを行い、そ
のうち1件は精神科医療機
関からの支援に関わらせて
いただきました。令和6年11
月から地域移行支援に取
組んでいるケースについては
、地域援助事業者との連
携を強く意識しています。

2 令和6年の取り組み

**親子交流イベント「一緒に宿題を
やろう」**

学校に行くことが苦手な子
どもたちとその保護者を対
象にした支

障害児相談支援

医療的ケア児や3歳未満の
児童発達支援の希望が増
加しています。特に「児童
発達支援の利用先が見つ
からない」という課題に直
面しており、放課後等デイ
サービスの利用も従来か
らの課題が続いています。
今後は、事業所との信頼
関係を基に連携を強化し
、必要なサービスの提
供につなげていきたいと考
えています。



だくため、「オープンカンファ
レンス」と題して、会議を
行政ならびに一部の地域
事業者公開する形で実施
しました。支援内容とその
プロセス、地域事業者と
の連携等について、外部
機関からの意見をいただ
くことで、より支援の質
を上げることが目的とし
ました。

振り返りと令和7年の取り組み

法人本部次長／片山淳一



地域支援活動

熊本市東区の小学校PTA
からの招待を受け、「発達
特性のある子どもへの支
援とメンタルヘルスサポ
ート」というテーマでお話
しました。地域のニーズを
知り、経験を深める貴重
な知見を得ることができ
、PTAのみなさまに深く
感謝申し上げます。



援イベントを企画しました。
登校が難しくなる傾向が増
えている中、スタッフの提
案により実施しました。子
どもたちは夏休みの宿題
に取り組んだ後、ゲーム
大会で楽しみました。保
護者は臨床心理士の講
話やミーティングに参
加しました。

3 令和7年の重点的取り組み

新規相談の受付は2月か
ら再開予定です。地域移
行支援については、自
院で数件の予定がある
ほか、他の医療機関か
らお問い合わせをいただ
いています。主治医や担
当者との信頼関係を築
き、具体的な支援に関
わることができれば幸
いです。

また、地域移行支援は
令和6年度の精神保健
福祉法の改正内容と密
接に関連するため、法
令遵守に基づいた具
体的な支援が重要と考
えています。地域支援
事業者との連携を強
化し、プラットフォーム
構築を進めます。そ
のためオープンカン
ファレンスは本年以降
もできるかぎり積極
的に取り組みます。障
害児相談支援につ
いては、個別の相談
支援に加え、グル
ープでの支援も展
開したいと考えて
います。関係機関
との連携を強化
し、現在企画実
施している活動
も踏まえ、随時
発信してまいり
ます。

熊本市においてはセル
フプランが極めて低
く、計画相談・障
害児相談支援が充
足している状況で
す。これまでは相
談支援専門員の
不足が課題と
なりましたが、今
後は利用者か
ら選択されるサ
ービスとなり
ます。本年は、
具体的な課題
解決、利用者
や子どものラ
イフステージ
に応じた支援
体制の構築、
関係事業所
との連携強化
、地域支援活
動の展開に注
力してまいり
ます。また、
当事業所の取
組みをインス
タグラムなど
のSNSで発信
し、広報活動
を充実させて
いきます。

activity report SDGs活動報告

SDGs委員会より

○ 令和6年のSDGs活動

当院では令和6年もSDGs委員会を中心に様々なSDGs活動を行って参りました。まず、年間を通して院内緑化の活動および院内の空きスペースを利用した畑づくりを行いました。収穫された様々な野菜は子ども食堂や職員へ定期的な配布をしています。

1～2月は第2回目となるフードドライブ活動を行い、ふるさと元氣子ども食堂（帯山教会・宮津代表）にお菓子を中心に72点の食品を提供させていただきました。

3月には令和6年1月の能登半島地震への募金活動とチャリティー販売を行いました。募金活動分23,461円とチャリティー販売の収益5,255円を石川県災害義援金口座へ送金いたしました。

8月にはフードドライブの書籍版として「ブックドライブ」と銘打ち、自宅不要になった書籍類を収集する活動をスタートしました。現在も収集は継続中で、集まった漫画や小説、画集や絵本など多種多様な書籍は、病棟デイルーム等に貸し出しを行うことにしています。

9～10月は第3回目となるフードドライブ活動として、熊本県主催の「フードドライブ2024」に参加しました。職員からご提供いただいた食品計40点は委員会メンバーで収集拠点に持ち込みいたしました。



ふるさと元氣子ども食堂に提供した食品



フードドライブ2024



○ これからの活動

フードドライブにおいては今後も定期的
に実施したいと考えておりますが、昨
今の食料品を始めとした値上げで極
力食材を無駄にしないような努力を各
家庭でされている中、ご協力いただ
いている職員には改めて感謝申し上げ
ます。

当院の「熊本県SDGs登録事業者」の
登録期間は令和7年9月までとなっ
ておりますが、本年は登録更新を目
指し、引き続きサステナブル（持続
可能）な活動に取り組んでいく所存
です。

かんぱんレシピ



たらのアクアパッツァ風

材 料 (2人分)	たら ……	2切	オリーブオイル ……	大さじ2
	冷凍むきあさり ……	100g	料理酒 ……	50cc
	ミニトマト ……	6個	水 ……	150cc
	しめじ ……	100g	塩 ……	少々
	ブロッコリー ……	80g	こしょう ……	少々
	にんにくチューブ ……	1cm	パセリ ……	少々

- 作り方**
- ①たらはキッチンペーパーで水気をふき取る。
 - ②鍋にオリーブオイルを入れて中火で加熱し、にんにくチューブを入れて軽く炒める。
 - ③皮目を下にしてたらをいれ、焼き色がついたら裏返して料理酒を入れアルコールを飛ばす。
 - ④水、へたを取ったミニトマト、ブロッコリーを加えて煮立たせる。
 - ⑤煮立ったら塩・こしょうを入れ弱火にして蓋をして10分程煮る。
 - ⑥お皿に盛り付け、パセリをかける。

POINT

たらは低糖質・低脂質で高たんぱく質・高ビタミンな栄養豊富な魚です。赤血球の生成や神経系の正常な機能に重要な役割を果たすビタミンB12や骨の形成を助けるビタミンDが多く含まれております。糖質や脂質を制限されてる方や貧血や骨粗しょう症の方におすすめの食材です。切り身よりも尾頭付きのお魚を使ってみたり、料理酒よりも白ワインを使ってみたりすると本格的なアクアパッツァができます。あさりのだしやトマトの酸味がしっかり効き、水溶性ビタミンであるビタミンB12が溶け出したスープも最後まで楽しんでみてください。

編集後記

昨年は診療報酬改定、精神保健福祉法の改正など院内においてもあらゆる体制の変革が求められる1年だったかと振り返ります。その中で今年は地域との繋がりを拡充できるよう尽力してまいります。その様子などを次刊ではご報告させていただきます。

できごと

こんなことがありました

スポーツ大会参加

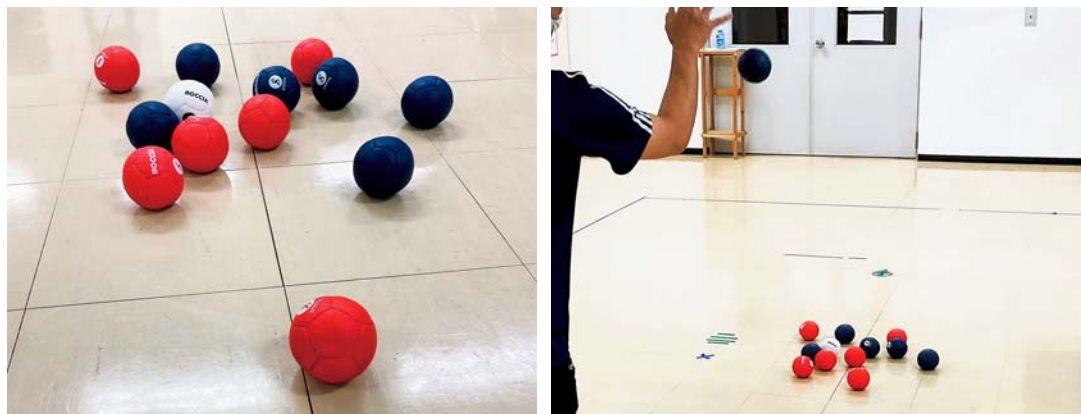
今回、熊本市・熊本市精神科病院会共催スポーツ大会で開催され、競技種目であるポッチャ※に当院より4名の患者様が参加いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響で近年は開催が中止となり、昨年ようやく大会が再開され今年は50回目の節目の大会であり多くの病院が参加し盛り上がりを見せていました。

実際、会場までの移動では遠足のような気分でしたが、いざ会場に着くと多くの競技者が集まっており会場独特の緊張感が漂い、それだけでも日常では味わえない良い経験となったと思います。患者様も競技が始まると真剣に向き合い勝つことができて安心したり、負けて悔しい思いをし

たりと一つ一つの結果に一喜一憂していました。

競技を行う中で、他の病院様の競技のレベルの高さに驚かされました。しっかりと戦略を立て何度も練習を行っていたとお話されており、競技の奥深さを感じ、実際に参加したスタッフも競技の合間で試しに練習をして楽しんでしまいました。

今年は優勝を逃しましたが、参加した患者様も「また来年も出たい」と概ね好評で、来年の勝利に向けて練習を重ねて行こうと考えています。



※「ポッチャ」とは…ヨーロッパで生まれた老若男女問わず、また障がいがある方でも楽しめるユニバーサルスポーツの一つで、パラリンピックの正式種目にもなっています。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールをなげたり、転がしたり、他のボールに当てたりしていかに近づけるかを競う競技です。